

議事録

会議名	令和2年度第1回四国中央市地域福祉計画審議会
開催日時	令和3年3月18日(木) 13:30~14:50
開催場所	市民交流棟2階会議室
出席者	委員 14名 (藤枝俊之 越智義文 鎌倉尊子 藤田弘子 石黒忠則 井原佳代 石川泰 篠原徹 高橋惇 鈴木絹代 佐々木恵子 鴻上正 青木和之 三谷二六) 篠原市長 大西福祉部長 高橋生活福祉課長 事務局 4名
傍聴者	市民 0人 報道関係者 0人

協議内容

1. 開会	事務局より開会
2. 委員紹介・ 委嘱状交付	第3次地域福祉計画審議会委員15名(高橋尚子委員欠席)の紹介 篠原市長より委員代表越智義文委員へ委嘱状を交付
3. 市長あいさつ	篠原市長よりあいさつ
4. 事務局紹介	大西福祉部長外事務局職員自己紹介
5. 審議会条例に ついて	四国中央市地域福祉計画審議会条例(資料1)について説明
6. 委員長・副委員 長選任	委員の互選により委員長を藤枝俊之委員、副委員長を篠原徹委員に選任。両 委員長あいさつ
7. 議事	<p>【協議事項】(1)四国中央市地域福祉計画について</p> <p>事務局より第2次地域福祉計画、地域福祉計画関連条文外(資料2)の説明 (委員長)</p> <p>まず、論点の整理として、今回の事務局のテーマは何か。 (事務局)</p> <p>今回は第1回目なので、地域福祉計画についての素朴な疑問など、基本的な 質問を受ける場と考えている。 (委員長)</p> <p>素朴な疑問や、ざっくばらんな意見をお願いしたい。 (委員)</p> <p>この計画は素晴らしい計画だと思うが、このような計画があることが市民に 伝わっていない。私は民生委員をしていて、お年寄りと話している中で、こ ういったことをしてほしいなどの話を聞くが伝わっていない。こんなことを していますよということを市民に知ってもらうことが大事だと思う。 (委員長)</p> <p>伝え方に関してのご意見でした。計画自体をどういう形でまとめるか、書き 方やデザインの仕方を含めたあり方に繋がると思う。 (副委員長)</p>

事務局に確認したい。第3次地域福祉計画策定には、当然第2次の計画の評価が必要となるが、スケジュールの中に計画の評価を4月に検討委員会並びに策定審議会で行うようになっている。評価の仕方はどのような形で行うのか。

(事務局)

第2次地域福祉計画の66ページに「計画の点検・評価」として、「関連する個別計画により具体的な施策を点検・評価・改善」をするとあり、関係各課それぞれで策定した個別計画について、63～64ページの成果目標の達成度合いなど、現在の状況を関係各課に確認し報告したい。

(委員長)

今回の事務局案としては、基本的に四国中央市第2次地域福祉計画をベースに進化版として第3次地域福祉計画を作っていくことで話を進めているが、もう一つの手法として、全く新しいものを策定する方法がある。一新すると大変時間がかかるものになると思うが、二つの方法があると思う。どちらの方法で進めていくのか、みなさんに確認したい。

(副委員長)

これまでのプロセスを踏まえ、これまでの振り返りを含めながら策定するのが良いと思う。全く新しいものを作るのは難しいのではないか。

(委員)

まったくそのとおりだと思う。

(委員長)

この件について、やっぱり一からやる。という意見がなければ、このまま進めさせてもらいたいのがよろしいでしょうか。今日はそういった流れでやるという事で進めさせていただく。

第2次計画の基本的なところは、総論的に変更はないという話だったが、平成29年から令和3年の今の状態について、医療分野において、新しい疾患概念が増えてきた。

医療的ケアという、医療を受けながら在宅で生活している方が増えてきた。いままで採用していなかった新しい分野も入ってきた。

また、病名が付いていない人で困っている人や、依存症、アルコールやギャンブルなど大人の問題だけでなく、子どもの問題ではメディア依存などが問題になってきている。これまで考えていたがより深刻になっている問題も盛り込んでいかななくてはならない。

総論的な部分に変更がないとはいえ、変化した部分はチェックしていかないといけない。

(委員)

地域住民の役割として、対象者が市民であったり、福祉団体、行政であったりするが、誰に向けてのものか。また、第2次地域福祉計画66ページに事業者の役割もある。事業者というのは、市内の事業者なのか、事業者も幅広くあり多様化している社会の中で、どこまでを指しているのかわからない。

(事務局)

55 ページから市民の役割、事業者の役割、行政の役割と記載しており、縦割りのように見えるが、基本的に地域の事業者、事業者、行政など、市全体で取り組んでいくものと認識している。全員が関わって取り組んでいくものと考えてもらいたい。

(委員長)

素朴な疑問がわいてくるところを分かりやすく明瞭化していくことが必要だと思います。

総論的なところについては、この時間内では収まらないと思うので、この会の中で戻ったりしながら進めていき、いいものにしたいと思う。

【協議事項】(2) 地域福祉計画審議会について

事務局より計画の策定体制(資料3)、策定スケジュール(資料4)の説明

(委員長)

審議会があって、検討会は行政内組織の会ということか。

(事務局)

そうである。

(委員長)

ワークショップは各担当課内でのワークショップの持ち上がりというのではなく、全体のワークショップとなるのか。ワークショップの結果を各課単位で動かせるものは動かすものなのか。

(事務局)

ワークショップに関しては、この地域福祉計画策定の為、検討委員会のメンバーを振分けて行い、各課の個別計画ではなく、全てを網羅した形での開催にしたいと考えている。

【協議事項】(3) 市民アンケート結果について

(事務局)

第2次地域福祉計画のアンケートについては、地域福祉計画14ページにアンケート調査概要として記載があり、当時市内在住の16歳以上の1,000人を無作為抽出、調査期間は平成27年10月～11月、郵送での配付、回収をいたしました。400通の回収があり、回収率は40%となる。詳細の説明は省略させていただきますが、このアンケート調査の結果を第2次計画のアンケートを策定の参考にさせていただいている。

本日は、今年2月に行った地域福祉計画アンケートの内容について担当より説明させていただきます。

(事務局)

最終的には調査報告書として一般公開されるが、現時点で分かっている事を調査結果概要として内部資料として紹介させていただく。(資料5)の説明

(委員長)

4月中にアンケートの分析報告を仕上げるということか。

(事務局)

<p>8. その他</p>	<p>現在作業に取り組んでいるが、単純に回答の報告だけだと、この概要書のとおりであるが、結果から見えてくるもの、分析に時間がかかっている。できれば4月下旬の報告を目標にしたい。</p> <p>(委員長)</p> <p>今日は中身について議論するのか</p> <p>(事務局)</p> <p>基本的には報告である。何か質問があればお受けする。</p> <p>(委員)</p> <p>今回は、じっくり見てから次回にしたいと思う。</p> <p>(委員長)</p> <p>もし質問等があれば、事務局へ問い合わせてもらえたら。このことについては、次回の委員会で協議することになるのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>次回はもう少し分析した結果をお示しできればと考えている</p> <p>(委員長)</p> <p>事務局側も悩んでいるところがあるのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>特に最後の自由記述のまとめ方等については検討が必要である。</p> <p>(委員長)</p> <p>何かアイデアがあれば事務局までご連絡いただきたい。長くなったが、本日の協議は全て終了となる。</p> <p>(事務局)</p> <p>次回の開催の時期についてですが、アンケートの分析やワークショップの開催方法など検討しており、若干固まっていないところがありますが、4月下旬開催を予定しております。開催日時が決まりましたら文書でご連絡します。</p> <p>(委員)</p> <p>審議会に参加したのが初めてですが、膨大な資料に戸惑った。事前に送ってもらえると助かる。準備の段階で出せる資料は出してもらいたい。特にアンケートは大事な基本となるものだと思うので検討課題になる資料は事前に提出してもらいたい。</p> <p>(委員)</p> <p>会の一週間前には資料を送ってもらいたい。なんとか事業、というものならわかりやすいが、計画の策定は難しい。</p> <p>(委員)</p> <p>地域福祉は範囲が広い。何を予習すればよいかわからず、今議会に提出された資料をもらって下調べしていた。日常活動の中で出てくる市民の問題、例えば孤独死や若者の引きこもりなど、計画に入れてくれたらいいなと思うポイントを整理してきたが、今日の段階では何も参考にならなかった。</p> <p>(委員長)</p> <p>今日の会は第1回目という事もあり顔見せ的な要素が大きかったと思う。ス</p>
---------------	--

9. 閉会	<p>ケジュール的なことでは、次回は4月の開催予定で、進めていけるか大変なところではある。今後の会の運営によっては、臨時的な会も考えないといけないくらいのボリュームの話をしているということ、みなさんの中で理解してもらいたい。</p> <p>第2回目以降しっかりと議論しながらより良いものにしていけたらと思う。1回あたりの時間的な問題も含めて事務局と協議を進めていきたい。</p> <p>(副委員長)</p> <p>今日は地域福祉計画とは何ぞやという概略をみんなで共有して、これからはいろんな課題をみんなでひとつひとつ審議していく。即するわけではなく、1年かけて段階を踏んで進んでいくととらえてもらいたい。今回は事務局から説明をもらったが、初回は、単純に何か気になる事はないですかということ。その意見からまた資料を事前にもらって議論して、ひとつひとつを詰めていくというプロセスになると思うがよろしいでしょうか。</p> <p>(生活福祉課長)</p> <p>ご意見いただいたように、今後は事前の資料の配付と、委員長、副委員長との事前相談もさせてもらいながら会を進めていきたい。</p> <p>(委員長)</p> <p>地域福祉計画ということは、協働のまちづくりになると思う。我々市民と行政の対立構図に繋がっていくのは本末転倒となる。市民と事務局ではなく、同じテーブルに立つような協議の場にできればと思っている。事前準備は必用となるが行政の方は大変だとは思いますがより良いものを委員のみなさんと作っていったらと思う。</p> <p>福祉部長よりあいさつ</p>
-------	--